

流 福 審 第 ● 号
令和 5 年 10 月 10 日

流山市長 井崎 義治 様

流山市福祉施策審議会
会長 鎌田 洋子

第 7 期流山市障害福祉計画及び第 3 期流山市障害児福祉
計画の策定について（答申）

令和 5 年 6 月 1 日付け流社第 150 号で諮問のあったこのことにつ
いて、下記のとおり答申します。

記

- 1 障害者総合支援法 **の施行により**、難病に罹患する方もこの法律の
支援の対象となりました。まだ知らない市民の方が多い状況です。支
援が必要な方に情報が届くよう、広報活動を強化してください。
- 2 障害者の高齢化や障害児への支援など、それぞれのライフステー
ジにおける課題や支援ニーズを把握し、ライフステージに沿った、必
要な支援が切れ目なく提供される体制を構築するため、地域資源の
開発等を行うとともに、事業者においても障害者にも配慮したサー
ビスを提供できるよう支援体制の整備に努めてください。
- 3 地域共生社会の実現に向け、障害者が生活しやすい地域をつくる
ため、市民の方が障害者の特性について理解を深め、近隣住民同士で
助け合える関係を築ける仕組みづくりを支援してください。
- 4 障害のある方の抱える課題が複雑化・複合化しており、既存の相談
支援体制では対応困難とされるケースも考えられます。相談支援体
制の強化を図りつつ、他分野の関係機関との連携の強化を図ってく
ださい。

※下線部は前回答申（案）から変更・追記のあった部分